

令和元年度（2019年度）第1回 豊中市公共施設等有効活用委員会

日時：令和元年（2019年）6月10日（月） 17：30～18：30

会場：豊中市立障害福祉センターひまわり会議室

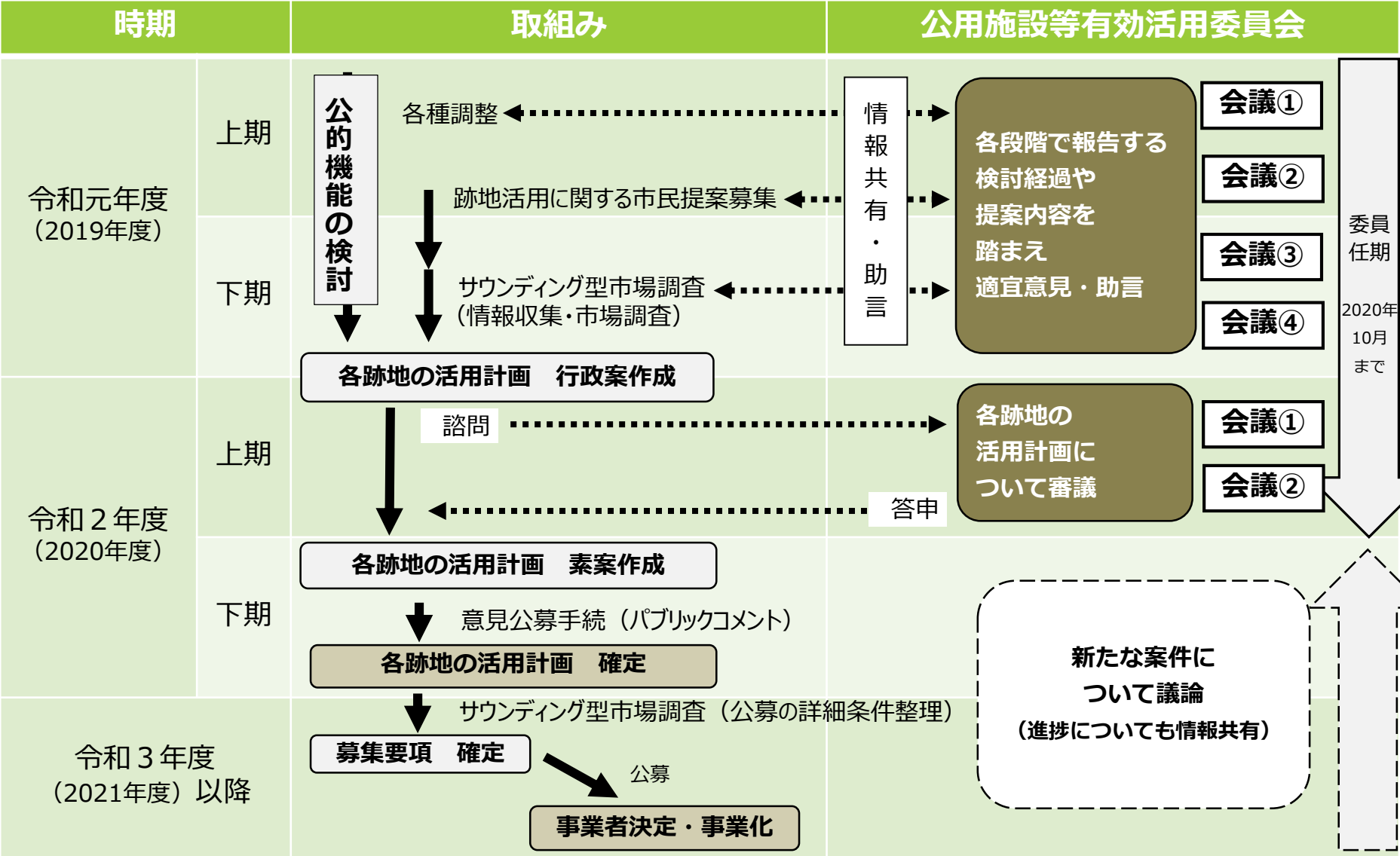
- 次第
1. 南部地域活性化基本計画について
 2. 市民提案募集について
 3. その他

1. 南部地域活性化基本計画について

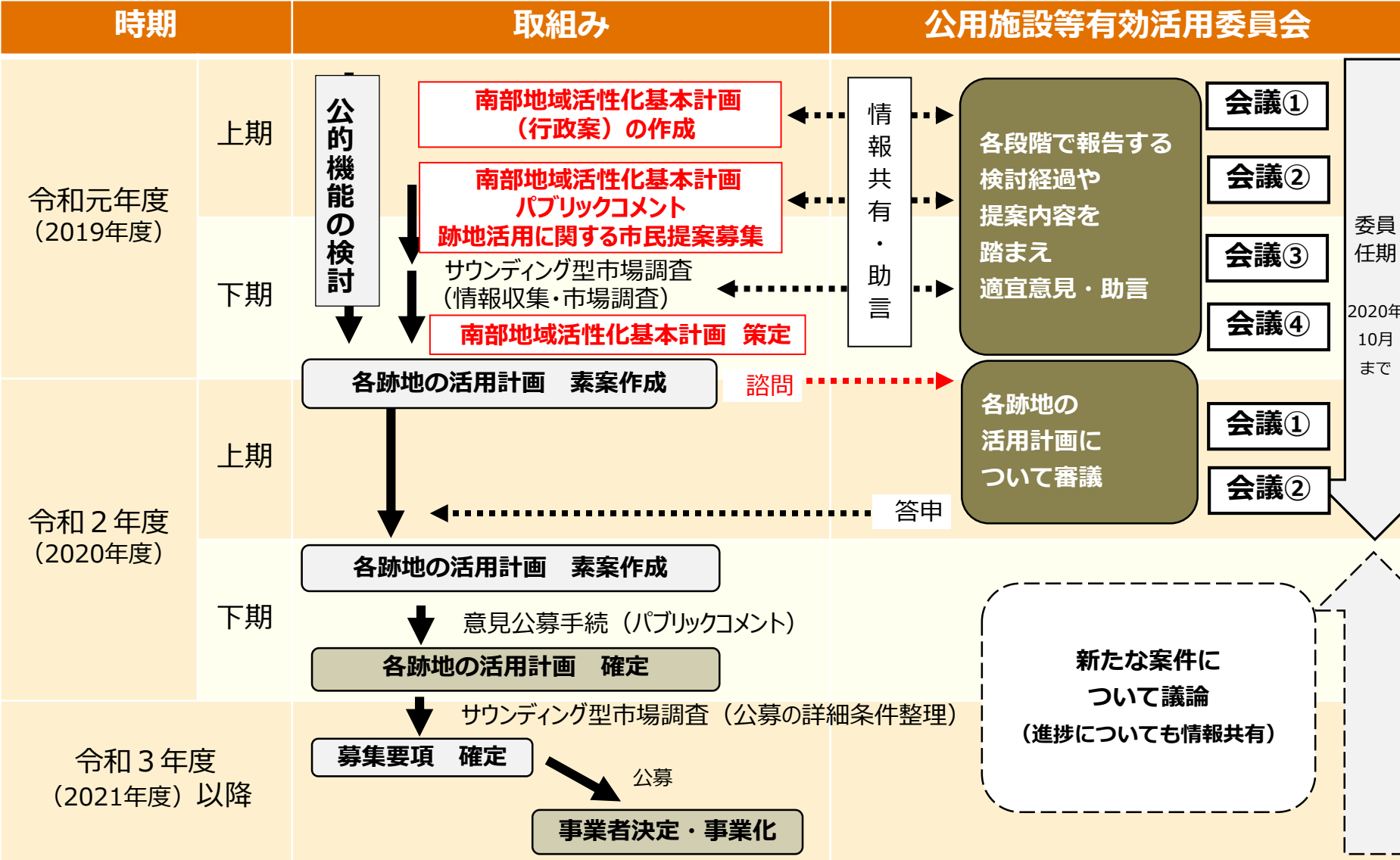
前年度の委員会で得られたご意見

項目	ご意見	対応
南部地域活性化について	市民提案募集やサウンディング型市場調査を実施する前に、南部地域のまちづくりの方向性を明確に示すことが必要	今年度中に南部地域活性化基本計画（行政案）を作成し、お示しします
	まちの特徴を明確に打ち出すとともに、新たにできる小中一貫校を核に、まちづくりに若い世代を取り込むことが必要	
	教育環境を充実させていく方向性を明確に示すことが必要	
	南部地域のブランド力を高めるチャンスと捉え、新しい取組みにチャレンジすべき	
学校跡地の利活用について	学校跡地をきっかけとして、まち全体として住居を更新することで災害に強いまちづくりを進めるなど、根本的な防災も必要	各跡地の活用計画（行政案）に反映します
	学校が担っている防災機能については、公共の役割を整理するとともに、その一部を民間に担ってもらう事例についても研究すべき	
	住宅都市としての機能にとどまらず、交通利便性を活かし、新たなビジネスの拠点とすることも検討できる	

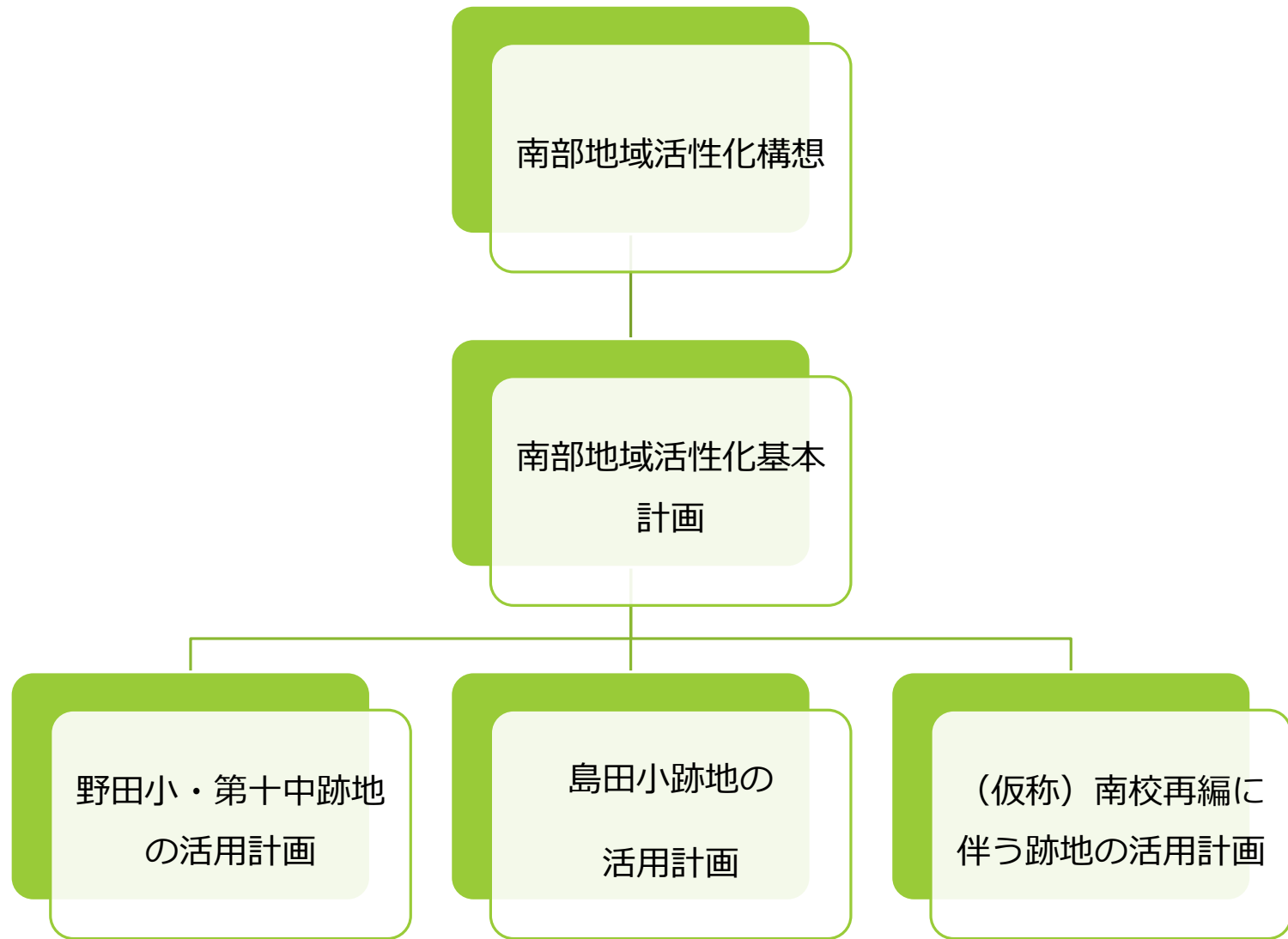
検討の進捗イメージと各段階における本委員会の関わり（平成30年度第2回委員会資料）



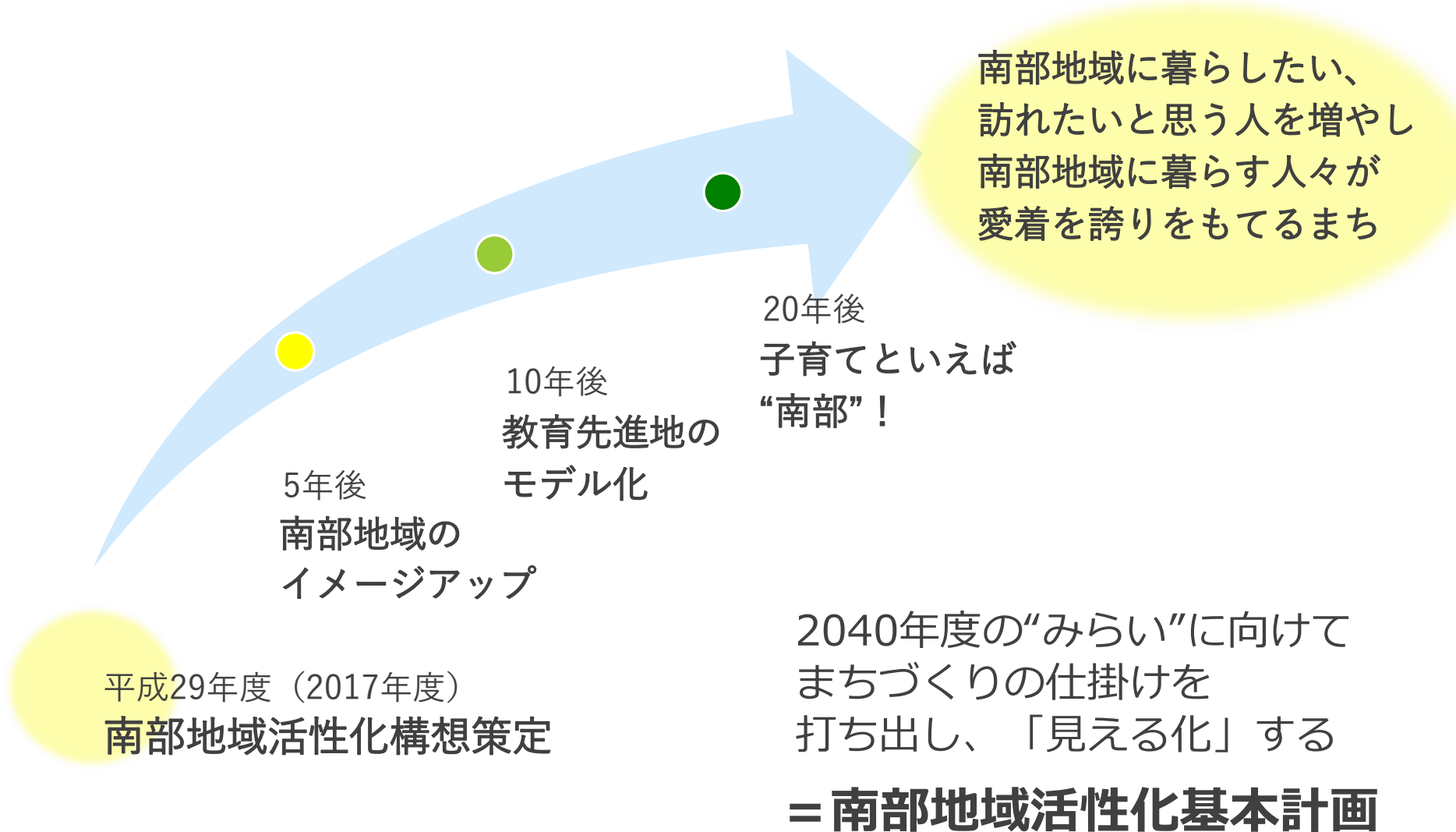
検討の進捗イメージと各段階における本委員会の関わり【更新】



南部地域活性化基本計画と学校跡地活用計画とのかかわり



南部地域活性化基本計画の位置づけ



人口減少に歯止めをかけるためには

- 豊中市全体の人口は好調に推移。一方、**南部地域の人口は減少**
- 南部地域では、20歳代は市外からの転入超過にあるが、**子育て世帯（0歳代及び30歳代）は市内・市外に転出超過**

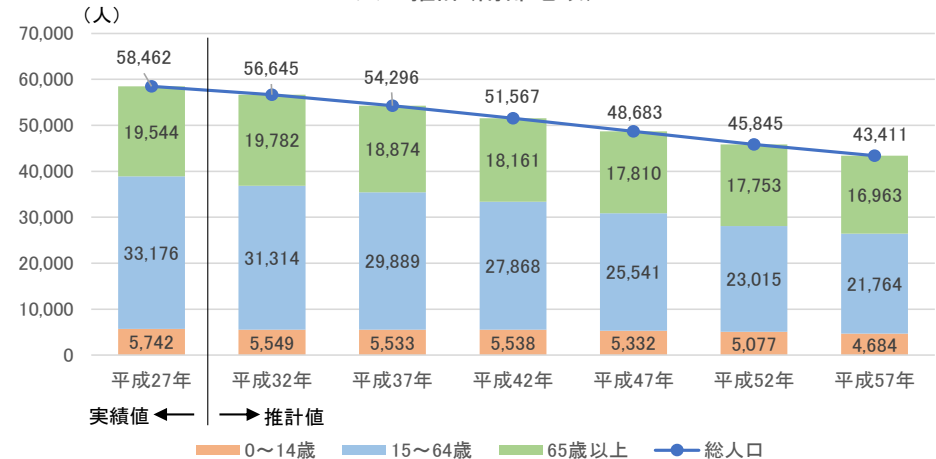


- 就職などを機に20歳代が居住するようになるものの、**結婚や出産といったライフステージと周辺環境が適合しきれていない**

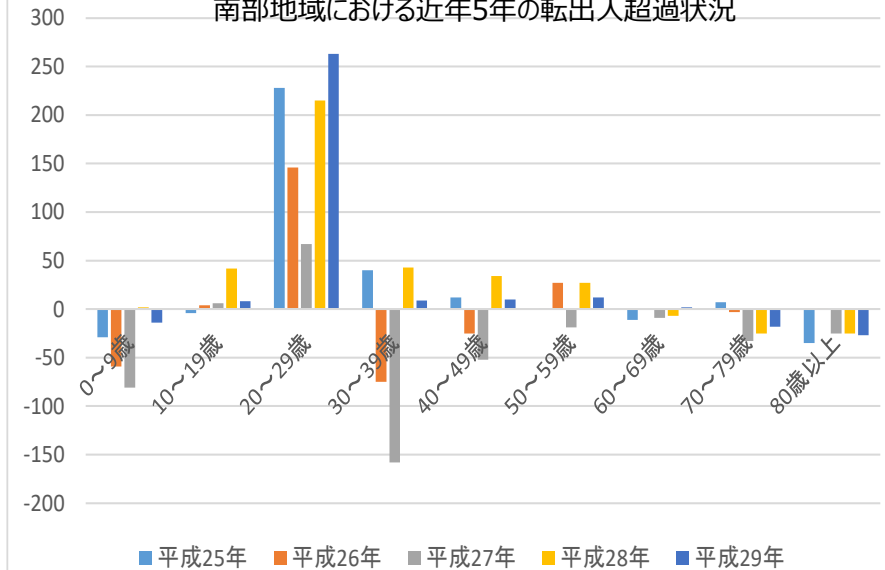


子育て世帯の定住性の向上が
南部地域の活性化には極めて重要な視点

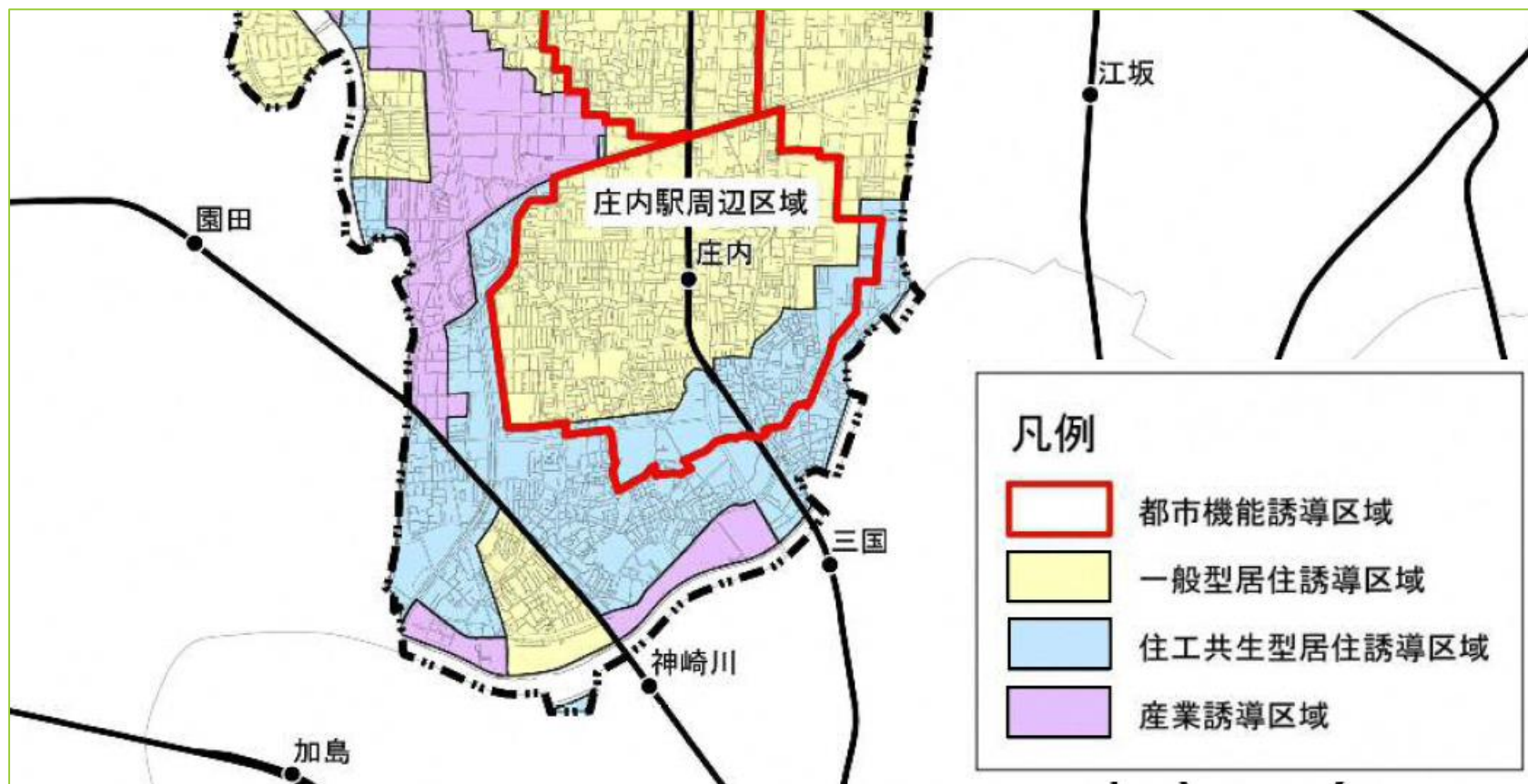
人口推計(南部地域)



南部地域における近年5年の転出入超過状況



(参考) 豊中市立地適正化計画における誘導区域



都市機能誘導区域（庄内駅周辺区域）：庄内駅からおおむね徒歩圏域1,000m以内で、子育て支援機能の充実を図る区域

一般型居住誘導区域：引き続き一定の人口密度の維持を図る区域

住工共生型居住誘導区域：職住近接の特性を活かしながら、住宅と事業所が共生する市街地の形成を図る区域

産業誘導区域：事業所の立地誘導を図り、住工混在の進行を防止することで安定した操業環境の維持・形成を図る区域

南部地域活性化基本計画の概要（おもなテーマ）

テーマ	内容
ゾーニング設定により まちの魅力を「見える化」	住む人や、住環境を整備する事業者に <u>エリアの魅力を分かりやすくPRし、誘導を促進すること</u> を目的に、立地適正化計画をもとに各エリアをより具体的にゾーニング設定
VRにより 学校再編後のまちを 「見える化」	まちの変化を「わがこと」として捉え、 <u>新たなまちづくりをイメージしていただくこと</u> を目的に、VR（仮想現実）により、再編後のまち（学校跡地周辺区域）を可視化
新たな魅力・価値の創造	保育や教育、福祉、防災、物流分野など地域が抱える課題に対して、ICT（情報通信技術）等の <u>新しい技術やサービスを活用</u> できるよう検討
公共施設跡の利活用	小中一貫校や（仮称）南部コラボセンター整備に伴う公共施設跡の利活用について、ゾーニング設定をベースとした検討を進める

2. 市民提案募集について

市民提案募集までのスケジュール

時期	実施内容
10月	南部地域活性化基本計画（行政案）の確定
10月下旬	市民説明会 ● 南部地域活性化基本計画（行政案）について ● 残す機能・施設について ● パブリックコメントについて
10月下旬～11月中旬	南部地域活性化基本計画 パブリックコメント ● 学校跡地の利活用に関する市民提案も併せて受付

**南部地域活性化基本計画に示す
まちづくりの方向性をベースに
学校跡地の利活用アイデアについて市民提案を募集**